

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年11月7日

上場会社名 株式会社 やまねメディカル
 コード番号 2144 URL <http://www.yvmd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

上場取引所 大

(氏名) 山根洋一
 (氏名) 秋田 和美

TEL 03-5201-3995

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	2,408	—	430	—	423	—	238	—
20年3月期第2四半期	1,852	21.9	350	86.2	338	94.0	184	168.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	2,112.58	—
20年3月期第2四半期	8,125.87	—

(注)潜在株式1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第2四半期	2,258	10,296.73	1,158	9,189.85	51.3	—
20年3月期	2,184	9,189.85	1,038	—	47.5	—

(参考)自己資本 21年3月期第2四半期 1,158百万円 20年3月期 1,038百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	900.00	900.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前年増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,866	25.1	794	23.6	780	25.4	429	23.6	3,807.14

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2)四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 113,300株 20年3月期 113,300株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 742株 20年3月期 320株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 112,806株 20年3月期第2四半期 22,660株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

3. 当社は、平成20年2月1日付で1株を5株とする株式分割を行っております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した国際的な金融危機がグローバル大手金融機関の信用リスク拡大を通じて、世界の实体经济に影響を及ぼしつつあることを背景として、国内においても景気後退の様相が急速に濃厚となりました。一方、介護業界においては、前期に引続いて業績の好調な一部の企業と、業績の低迷を脱しきれない多数企業との二極化が一段と鮮明化いたしました。

このような状況のもと、当社は介護を要する高齢者の「尊厳の保持」を重視しつつ、ご利用者及びご家族のご満足をさらに増進するため、介護技術及びノウハウの高度化によるベストサービスの提供に一段と注力いたしました。それとともに緻密なマネジメントの推進と教育育成活動の強化を通じて、事業運営全般にわたる生産性の向上に努めました。

また、通所介護事業において、平成20年7月に東京都渋谷区にデイサービスセンター（以下「DS」といいます）なごやか幡ヶ谷を、8月に東京都杉並区にDSなごやか方南町を、9月に東京都板橋区にDSなごやか成増をそれぞれ開設して、事業成長の基盤を強化拡充いたしました。このように、当第2四半期会計期間中に3施設を新規開設いたしました結果、当第2四半期会計期間末において60箇所の直営DSを展開しております。

フランチャイズ事業においては、当第2四半期会計期間末において、7箇所のフランチャイズによるDSを展開しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間（6か月）の当社の損益状況につきましては、営業収入は2,408,839千円、営業利益430,413千円、経常利益423,869千円、四半期純利益は238,311千円となりました。

また、当第2四半期会計期間（3か月）につきましては、営業収入は1,250,137千円、営業利益229,966千円、経常利益227,251千円、四半期純利益は130,133千円となりました。

なお、前年同期業績及び比較増減については、参考として記載しております。

（第2四半期累計期間）（6か月）

（単位：千円）

	平成20年3月期 自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日	平成21年3月期 自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日	比較増減	比較増減 (%)
営業収入	1,852,758	2,408,839	556,081	30.0
営業利益	350,228	430,413	80,185	22.9
経常利益	338,406	423,869	85,463	25.3
四半期純利益	184,132	238,311	54,179	29.4

（第2四半期会計期間）（3か月）

（単位：千円）

	平成20年3月期 自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日	平成21年3月期 自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日	比較増減	比較増減 (%)
営業収入	951,382	1,250,137	298,754	31.4
営業利益	176,056	229,966	53,910	30.6
経常利益	172,206	227,251	55,045	32.0
四半期純利益	97,361	130,133	32,772	33.7

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、2,258,733千円（前年同期比6.8%増）となりました。資産の内訳につきましては、流動資産が1,176,677千円（前年同期比10.0%減）、固定資産が1,082,055千円（前年同期比33.9%増）であります。また、負債合計は、1,099,754千円（前年同期比10.3%減）となりました。負債の内訳につきましては、流動負債が982,477千円（前年同期比6.1%増）、固定負債が117,277千円（前年同期比61.0%減）であります。純資産合計は、1,158,979千円（前年同期比30.4%増）であり、これは主として利益剰余金の増加によるものであります。

なお、前年同期比については、参考として記載しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、241,845千円となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、148,052千円となりました。

これは主に、既存施設の利用者数の順調な増加及び新規施設の開設による売上債権の増加133,298千円及び給与規程の改正により給与締日を変更したことに伴う給与の支給などによるその他の流動負債の減少25,145千円、法人税等の支払額172,320千円などによる支出があったものの、通所介護事業の業績が堅調に推移したことによる税引前四半期純利益の計上が429,990千円あった結果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、184,877千円となりました。

これは主に、通所介護事業のための新規施設の開設による有形固定資産の取得による支出110,105千円及び同じく新規施設の開設による敷金の差入による支出62,844千円等があった結果によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、170,963千円となりました。

これは主に、短期借入金の増加130,000千円がありましたが、配当金の支払額101,682千円、長期借入金の返済による支出182,365千円などによる支出があった結果によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、既ね計画通りの推移となっておりますので、「平成20年3月期決算短信」にて発表いたしました平成20年5月12日付公表の業績予想から変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(3) 四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高等から見て、当企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

資産基準	1.4%
売上高基準	0.0%
利益基準	0.0%
利益剰余金基準	△1.3%

※会社間項目の消去後の数値により算出しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	241,845	449,633
営業未収入金	839,901	706,603
その他	97,493	89,756
貸倒引当金	△2,563	△1,542
流動資産合計	1,176,677	1,244,451
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	668,940	607,327
その他(純額)	79,016	65,053
有形固定資産合計	747,956	672,380
無形固定資産		
投資その他の資産	10,102	10,387
敷金及び保証金	253,416	190,716
その他	70,579	66,795
投資その他の資産合計	323,996	257,512
固定資産合計	1,082,055	940,280
資産合計	2,258,733	2,184,732
負債の部		
流動負債		
営業未払金	19,430	16,590
短期借入金	250,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	228,142	324,379
未払法人税等	205,156	183,495
賞与引当金	42,441	35,945
その他	237,306	262,647
流動負債合計	982,477	943,058
固定負債		
長期借入金	117,277	203,405
固定負債合計	117,277	203,405
負債合計	1,099,754	1,146,463

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	304,375	304,375
資本剰余金	254,375	254,375
利益剰余金	631,049	494,419
自己株式	△30,820	△13,904
株主資本合計	1,158,979	1,039,265
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△996
評価・換算差額等合計	—	△996
純資産合計	1,158,979	1,038,268
負債純資産合計	2,258,733	2,184,732

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業収入	2,408,839
営業原価	1,766,991
営業総利益	641,848
販売費及び一般管理費	211,434
営業利益	430,413
営業外収益	
受取利息	366
助成金収入	390
受取手数料	1,166
雑収入	83
営業外収益合計	2,005
営業外費用	
支払利息	7,774
雑損失	774
営業外費用合計	8,549
経常利益	423,869
特別利益	
受取和解金	9,164
特別利益合計	9,164
特別損失	
固定資産除却損	821
投資有価証券売却損	1,922
損害賠償金	300
特別損失合計	3,044
税引前四半期純利益	429,990
法人税、住民税及び事業税	193,500
法人税等調整額	△1,821
法人税等合計	191,678
四半期純利益	238,311

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
営業収入	1,250,137
営業原価	910,203
営業総利益	339,933
販売費及び一般管理費	109,966
営業利益	229,966
営業外収益	
受取利息	366
助成金収入	390
受取手数料	935
雑収入	14
営業外収益合計	1,706
営業外費用	
支払利息	3,817
雑損失	604
営業外費用合計	4,421
経常利益	227,251
特別利益	
受取和解金	9,164
特別利益合計	9,164
特別損失	
固定資産除却損	821
投資有価証券売却損	1,088
損害賠償金	100
特別損失合計	2,010
税引前四半期純利益	234,405
法人税、住民税及び事業税	98,000
法人税等調整額	6,271
法人税等合計	104,271
四半期純利益	130,133

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	429,990
減価償却費	35,708
長期前払費用償却額	5,677
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,021
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,495
受取利息及び受取配当金	△366
支払利息	7,774
有形固定資産除却損	821
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,922
受取和解金	△9,164
損害賠償損失	300
売上債権の増減額 (△は増加)	△133,298
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,840
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△5,789
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△25,145
小計	318,788
利息及び配当金の受取額	366
利息の支払額	△7,715
和解金の受取額	9,164
損害賠償金の支払額	△300
法人税等の還付額	69
法人税等の支払額	△172,320
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,052
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△110,105
無形固定資産の取得による支出	△1,500
投資有価証券の売却による収入	3,037
敷金の差入による支出	△62,844
敷金の回収による収入	145
長期前払費用の取得による支出	△13,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	130,000
長期借入金の返済による支出	△182,365
自己株式の取得による支出	△16,916
配当金の支払額	△101,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,963
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△207,788
現金及び現金同等物の期首残高	449,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	241,845

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(要約) 中間損益計算書

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業収入	1,852,758
II 営業原価	1,326,556
営業総利益	526,202
III 販売費及び一般管理費	175,973
営業利益	350,228
IV 営業外収益	
1. 受取利息	717
2. 受取手数料	812
3. 助成金収入	311
4. 受取保険金	141
5. 雑収入	322
営業外収益合計	2,305
V 営業外費用	
1. 支払利息	12,485
2. 雑損失	1,643
営業外費用合計	14,128
経常利益	338,406
VI 特別利益	—
VII 特別損失	1,066
税引前中間純利益	337,339
法人税、住民税及び事業税	149,595
法人税等調整額	3,612
法人税等合計	153,207
中間純利益	184,132

「参考資料」

前年同四半期に係る連結財務諸表

(要約) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	337,052
減価償却費	24,527
長期前払費用償却額	8,061
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	289
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,179
受取利息及び受取配当金	△748
支払利息	12,485
有形固定資産除却損	626
損害賠償損失	300
売上債権の増減額 (△は増加)	△74,489
仕入債務の増減額 (△は減少)	603
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△8,618
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	22,082
小計	323,352
利息及び配当金の受取額	748
利息の支払額	△12,270
損害賠償金の支払額	△300
法人税等の支払額	△191,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,083
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△106,712
無形固定資産の取得による支出	△1,250
敷金の差入による支出	△42,341
敷金の回収による収入	68
その他	△8,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,869

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△377,346
配当金の支払額	△22,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400,006
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△438,792
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	1,066,028
Ⅵ 現金及び現金同等物の中間期末残高	627,235

6. その他の情報

該当事項はありません。